

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	街路樹等管理事業			
予算科目	8 款 2 項 2 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課:	土木管理課	電話番号(内線):	593
記入者情報	所属長:	木曾 信之	担当責任者:	小西 洋三
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	利用者			
根拠法令等	道路法			
事業の目的	街路樹等を常に良好な状態にし、道路利用者が安心して通行できるよう道路の機能を維持する。			
事業の内容	委託による街路樹等の剪定・除草・消毒・施肥等			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	作業員への安全指導を実施する。複路線での委託を実施し経費削減を図る。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	1,735	2,098	968	1,774
	人件費	813	795	795	795
	合計	0	2,893	1,763	2,569
人件費 内訳	人工数	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	813	795	795	795
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,548	2,893	1,763	2,569

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
委託件数	件	12	15	7	26

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	1,800	2,000	2,000	0	0	5,800

成果指標				
成果指標	委託件数			
指標設定の考え方	委託業務をできるだけ作業別にし、まとめて委託するようにして合理性を図る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	15	15	15	0
実績	12	26	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	街路樹の管理については、おおむね妥当な時期に作業することが出来た。除草作業は、効率が上がりにくいものである。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	街路樹が歩道へ張り出しているため危険な箇所がある。少なくとも高さ2.5mまでは枝打ちをする必要がある。また、交差点での街路樹が大きくなり見通しの悪さから交通事故を招かないよう剪定をしたい。消毒、剪定、草引きについては適正な時期に実施できている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題